

平成30年度 福岡市立当仁中学校 学校経営方針

【本校教育の基盤】

日本国憲法、教育基本法をはじめとする諸法規並びに「あたらしい福岡の教育計画」人権教育の指導方法の在り方および学校教育指導の重点を基盤とする公教育の推進を図り、保護者や地域社会の付託に応える教育を行う。

【校 訓】

「當仁不讓於師」 とうじんふじょうおし (じんにあたりてはしにもゆずらず)
「厳」(きびしさ) ……自ら学び、自らを高めていく厳しさを持った生徒
「豊」(ゆたかさ) ……人権を尊重し、人間性豊かな生徒
「逞」(たくましさ) ……強靱な精神力と逞しい体力を持った生徒

【学校教育目標】

社会の変化に対応し「自らを高めていく厳しさを持ち、豊かな人間性を持ち、逞しい体力を持った生徒」の育成を目指す。

【目指す学校像】

- あいさつに溢れ、明るく生徒が登校する学校
- 環境美化を推進し、安全で学習に専念できる学校
- いじめや不登校がなく、正しいことが認められる学校
- 保護者や地域社会から信頼され、開かれた学校

【目指す生徒像】

- 学校を愛し、誇りを持ち、社会に貢献できる生徒
- 将来を見据え自らを律し、正しく行動する生徒
- 逞しい心身を持ち、粘り強く、自ら課題に立ち向かう生徒
- 自他の人格を尊重し、互いに認め合い高め合う生徒
- 自らの考えを發表し、行動できる生徒

【目指す教師像】

- 一人一人の生徒に、真の愛情を注ぐことができる教師
- 学校教育目標を理解し、具現化のため努力する教師
- 研修に努め、専門的知識と生徒指導力を備えた教師
- 保護者や地域社会との連携を密にし、教育の充実に努める教師

平成30年度の重点

1 教育課題から

- ① 基本的な生活習慣及び規範意識の定着と自己指導能力を育成する生徒指導の充実
- ② 生徒一人一人の状況の把握と個に応じた指導の充実
- ③ 人権感覚を身につけ、いじめや差別を見抜き、許さない意志と実践力を持った生徒・集団の育成

2 経営課題から

- ① 協働による組織的な学年、学校運営の推進
- ② PDCA サイクルによる学校改善
- ③ 教職員の危機管理意識、指導力の向上

3 今日の課題から

- ① 基礎学力の定着及び、主体的・対話的で深い学び(アクティブ・ラーニング)を見据えた学習指導の充実
- ② 豊かな心と健やかな体の育成
- ③ 家庭及び地域に開かれ、信頼される学校づくり

